

# 風景の中に漂う女たち

石阪春生〈画家〉 多田智満子〈詩人〉



「人間のイマージュ、特に文学的イマージュはすごいです」石阪春生さん

石阪 いやあ、どうも。恐縮です。

多田 私、石阪さんの絵は誤解されやすいと思うんですよ。誰が見ても、非常に美しく見える、素人でも分る絵ですから。日本人っていうのは、どうも分りにくいもののが有難いよう思うところがありますでしょう。

石阪 そういうところがありますね。

多田 装飾性というのかどうかわかりませんが、きれいに描いていくうちに石阪さんの固有の世界が顯ちあらわれてくるよう思います。

石阪 装飾的な意思是、あまり強い方ではありません。むしろ絵画的な構成とその不思議さをつくることを心がけているのですが、そうしたなかで、いつも緊張感を欲しいと思っているのです。そう言われてみれば、どうしてもきれいな画面になるのかも知れませんね。

多田 それはそうですね。ヴァレリーっていう詩人がではます、石阪先生の素敵な絵に乾杯。

画家は並はずれた能力のもちぬし

多田 昼間からこんなにいいブランデーをいただいていいんでしょうか。

石阪 どうぞ、どうぞ。

多田 ではまず、石阪先生の素敵な絵に乾杯。

「人間はたかだか誤解しあえるに過ぎない」と言つていますが、そういうところがありますね。分つているつもりでも、たかだか誤解しているにすぎないという…。

石阪 ほう、面白いことを言つてますね。

多田 私、絵の描ける人は並はずれた能力の持主のような感じがするんです。自分では絶対に描けませんから

(笑)。言葉というのは誰でも毎日使っていますから、上手、下手があつたとしても文章の全然書けない人はいない。ところが絵は、普通の人間が毎日描いてるものじゃないですからね。これは技術が必要なんですよ。

石阪 でもある技術が自分の身についてきて、その中で修練していると、特技を持つているような気はしなくなりますけどね。

多田 特技でなくなってしまうんですか。

石阪 だから私も、歌を歌つたり、文章を書いたりしている人を見たら驚異を感じますよ(笑)。

多田 私、昨日たまたま京都へ行く用事があつて、「モネ展」にも足を運んだんです。モネがあんなに長生きだ

ったとは知りませんでした。一八四〇年生まれで、例の蓮池を描き始めたのが一九〇〇年代。つまり六〇歳過ぎてから描いているんです。画家って本当に息の長い仕事を、年をとつてからでも立派な仕事ができる。うらやましいと思いますよ。

石阪 芸術家中でも画家は息が長い方ですね。モネの蓮池の絵は、自分の家の庭の池を描いてるらしいですよ。

多田 自分の家庭にしては広いですね。

石阪 テレビか何かで見ましたけれど、すごく大きいところでしたよ。その庭の池をひねもす描いていた…。恐らく自分のアトリエの中から描いていたんでしょうね。

伝記によると、女の絵など余り描かせてもらえないかつたら私を描きなさいって…すごい人(笑)。

多田 そうだったんですか(笑)。奥さんもお若い頃はいいでしょうけど…。

石阪 そうそう…。年とつたら描く気がなくなりますよ。それで最後は蓮池ばっかり描いていたんでしよう

ね(笑)。あまりきつい女房だと女房を描けなくなるんですよ。うちの女房もアトリエに入つてくると気持ち悪がりますよ。

多田 そうでしょうね。

石阪 得体の知れない女の絵が一杯あるわけですからね。絵ができるだけてくると異様ですかね。

多田 それは私も気持ち悪いです。大体こんなに人形なんかが沢山並んでいるのが余り気持ち良くないんですよ。

ヨーロッパ絵画の無限空間は黒

石阪 私は、こういったアンティックの人形があつて、その人形か



「それだけ絵が文学性を帯びてくるんですよ」多田智満子さん

ら匂いが出てくるのが面白いと思うんですよ。ヨーロッパ臭い匂いが出てくるのがね。



石阪 そうですね。ここにあるのは皆、偽物のヨーロッパです。ヨーロッパで使い古された物を羅列しておくと匂いが出てくる。その匂いを絵の中に連れて入ると、絵がヨーロッパ風になる。私の場合、偽物のヨーロッパで充分なんです。本物のヨーロッパにはかなわない。これは、そこに住んでる人にかかるては負けていますからね。

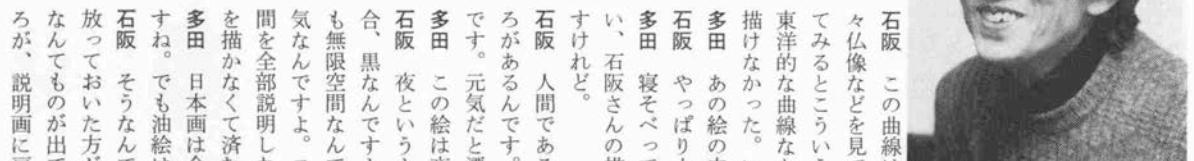
多田 それは自分で消化しきれるヨーロッパということなんでしょうね。

石阪 そう言つていただけたら嬉しいです。ヨーロッパの街並など、それはそれで面白い。でもそういうものをいくら描いたところで、自分の空間に連れて帰ることはできない。するとすぐ無関係な気がしてくるんですよ。

多田 なるほど。

石阪 だが風景に感動して絵を描き、日本に帰ってきて歴史に残った画家もいる。先輩で佐伯祐三さんがパリへ行かれて熱病みたいに感動して描き、あれだけの画面ができた。私にはあんなヨーロッパはないですね。かといって私の絵も西洋画ですから西洋志向がないことはないんです。私の場合描き方が油絵的にできなかつた。油絵

多田 非常に線を重んじていらつしやる点が普通の油絵と違いますね。そしてその線が描かれているんですね。だから逃げたんですよ。日本人だつたから…。



石阪 この曲線は自分でも説明がつかないんですが、時々仏像などを見ていて似てるなあとと思うんですよ。調べてみるとこういう曲線は余りヨーロッパにないんです。

東洋的な曲線なんですよ。結局、ヨーロッパの面の絵は描けなかつた。いろいろ勉強したんですけどね。

多田 あの絵の中のこうもり傘が面白いですね。

石阪 やつぱり小道具でものすごく画面が変ってきます。多田 寝そべっている二人の女は物憂げですね。だいたい、石阪さんの描かれる女はみんな倦怠の表情がありますけれど。

石阪 人間であるのか、能面であるのか定かでないところがあるんです。あまり元気であつてもらつては困るんです。元気だと漂つてこないんですよ。

多田 この絵は夜なんでしょうか。

石阪 夜というより、ヨーロッパの無限空間は油絵の場合、黒なんですよ。日本の無限空間は白です。紙の余白も無限空間なんですね。黒い無限空間は夜ではなく、空氣なんですよ。ヨーロッパの絵は空間があると、その空間を全部説明しないといけない。日本画や東洋画はそれを描かなくて済むんです。

多田 日本画は余白を残しておいてかまわない絵なんですね。でも油絵は隅から隅まで何か塗らないといけないんです。でも油絵は隅から隅まで何か塗らないといけないんです。塗らないと絵にならないんですけどね。だから抽象画なんものが出てきてそういう概念を全部外した。ところが、説明画に戻つてくると、また、天地や重力が存在

しているので全部描かないといけないことになってくる

多田 でも絵に感情を入れようと思うと、抽象画ではおさまらなくなってしまいませんか。

石阪 私ははじめ説明画を描いていましたが、時代の流れで思わず抽象画に入つたんです。初めは抽象画も面白かったんですが、やっているうちに人からものすごく説明を求められるようになつたんです。それに、ここにこういう形があつたら何かをしやべつてくれる…というような形象が現われ出して…そうなるとたまらくなつてまた説明画に戻つてしまつたんです。

多田 素人考えですけど、画面に黒く細長いものを置きたいなと思った時、抽象画だとただ黒い細長いものを描けばいい。ところが先程の絵のように黒いこうもり傘を持つてくると、それが断然雄弁に語つてくれるところがありますね。

石阪 そのつらさと良さがあると思うんですよ。こうもり傘を置いたために、そこに意味が生まれすぎたりしてね。でも私の絵のイメージは色んなものを画面に置いておくことによつてものすごく拡大しますね。人間のイメージ、特に文学的イメージはすごいですね。

多田 そうですね。具体的なものには喚起力があるんですね。想像力を刺戟してそれだけ絵が文学性を帯びてきます。それに藝術っていうのはなにも純粹絵画でなくてもいい。境目がボケていてもかまわないと思いますよ。

石阪 美学的であるとか、絵画的であるとか、余りそんなことにこだわらないで、絵はものとして色々に解釈さ

#### 抽象絵画は禁欲的絵画?!

れいいんですよ。

多田 石阪さんの絵には、或る種のデカダンスがありまですね。それから、△もの▽と△ひと▽との境目をぼかしていらっしゃる。こちらの絵だと、女の髪が背景の木と混じり合つて、人間が自然の一部に溶け込んでいるようなところがある。あちらの絵だと、女の身体がいろんな△もの▽と同格になつていますね。

石阪 そう。同じ価値を持つて並んでいるんですよ。それは抽象画をやつていたせいでしょうね。意図的にいとうよりも、勉強しているうちに自然にこういう絵の描き方を覚えてしまつたんです。それがモダニズムであるのかどうか分りません。三十八歳の時に、私は抽象画のような実験的絵画がいやになつたんです。一年間程何も描かなかつた。その時自分は破壊してトライするタイプではなく、温めていくタイプの画家だと思つたんですよ。何を描こうか色々考えていて、ふと女が面白いと思つた。これなら一生やつていけると思つたんです。

多田 何も破つて実験するばかりが絵じやない…。

石阪 破壊型の画家もそれはそれで素晴らしいんですが、私の場合は温め型で趣味的なんです。人形でも、女でもその匂いを温めて醸酵させていく、そんな絵になつた。それをわりと、なりふりかまわず、街いもなくやつているんですよ。それが私の唯一の反逆かもしませんね。

多田 なりふりかまわないとこがね。



石阪 そうそう。今ぐらい色々な絵がある時代はないですか

から、なりふりかまわないことをやってみたいんですよ。

多田 若い頃、抽象をしていましたから、そういうところを一番抑えられているんですよ。

石阪 抽象画はいうなれば禁欲的な絵なんですね。

石阪 そう。あれは一種の禁欲ですね。だから禁欲が解けて、こんななりふりかまわぬ絵を描き出した(笑)。

画家にとって高度の職人性は重要な要素

多田 昔の明治頃の画家はわりと佐伯祐三みたいに肺病などで若死にしておられるでしょ。

石阪 燃焼型の画家が多かった時期なんですね。今は学問的タイプの画家が多いですね。学問的になりすぎてしまけどね、絵がね。

多田 石阪さんも初めから絵じやなくて、関西学院大学で経済学をされている。画家を志されたのはいつですか

石阪 大学を出て三年目ぐらいからです。晩学ですよ。

多田 画家には晩学の方は多いみたいです。

石阪 そうですね。

多田 石阪さんのお家は兵庫の古いお家だそうで、昔からここにいらしたんですね。詩人の竹中郁さんとご親戚だと伺いましたが。

石阪 彼はこの家で生まれたんですよ。戦争で焼ける前ですけどね。彼も石阪でもあったわけです。私の親の弟なんですよ。



絵画における文学性を巡って対話はつづく

多田 するとおじさんですか。道理でお顔が似ていらっしゃる:(笑)。

石阪 彼も実は画家になりたかったんですよ。ですから私が絵を描きはじめた頃はひやかされてばかりでしたよ。彼は詩人らしく感覚的に絵を描く人だったんですけど、私は、自分の感覚的なところがやになって来ていて、職的な絵を描き出したんです。それからは何も言わなくなりましたよ。あんたの絵しつこいなあって言われて、それでおしまい(笑)。

多田 権限外になつた(笑)。

石阪 そうそう(笑)、だから楽になりましたよ。

多田 私、高度の職人性というものは、非常に重要な要素だと思いますよ。

石阪 ええ、私は好きなんです。

多田 私も好きです。それがないと何か物足りない。

石阪 うちの母の実家は職人の家だったんですよ。三木の金物屋だつたんですけど私の知つている頃はもう問屋だつた。昔は鋸などを手仕事で作つていたらしいです。

多田 石阪さんもそういう血筋を継いでおられる。

石阪 そうじやないかという気がしますね。石阪の家系だけでは、こんなことはできなかつたと田いせナト。

多田 でも石阪家は優秀な家系ですね。すばらしい詩人とすばらしい画家がお出になつて……。

石阪 いえいえ、これからです。

多田 これからも素晴らしい絵を描いていただけますよう

に…。

(石阪春生画伯のアトリエにて)

# 古陶器の逸品で味う季節の風味…



## 山形や裕久コレクション・5

- |             |            |
|-------------|------------|
| ①印判手花鳥図     | ⑥伊万里蛸唐草中皿  |
| ②印判手鳳凰図     | ⑦伊万里小皿     |
| ③色絵猪口       | ⑧伊万里磨手飯茶碗  |
| ④瀬戸印判徳利     | ⑨伊万里磨手菴麦猪口 |
| ⑤伊万里櫻塔紋スープ鉢 |            |



半コース(皮、ズリ、きも、ミンチ、ねき身、野菜2種類)の他に、すすめ、うずらなどの野鳥料理もございます。



焼鳥



釜めし

# 山形や 裕久

神戸市東灘区本山北町3-11 (本山市場東)  
(阪急岡本・国鉄揖津本山各駅から徒歩3分)  
電話(078) 452-2905 午後5時-10時 月曜休

# 花もん 絵辺新司 江光

「何時か二人で飲もう」

部長は又私の肩を押えると席を立ち、洋に何か言った。

「いいですよ。今日は僕が持ちます」

「無理するんじゃない。取つときなさい」

部長は片手を上げると、そのまま出て行った。結局、

学生の洋一人におごらせるのは酷だということになり、皆が二千円づつ出し、残りを洋が持った。洋はアルコールに強い体質なのか、最後まで崩れなかつた。足もとのおぼつかない田賀の腕をつかんで肩につかまらせ家に送りこんだ。幸子も帰り、二人で夜の町を歩いた。十二時をすぎたばかりの街は、まだ車の流れがつづいていた。車のライトも、黒い夜を飾るネオンも、花輪のようにふくらみつやと光つてゐる。

「ここは銀河鉄道の何番目の駅なのかしら？」

私はふざけてそんなことを言いながら洋の腕を取つた。長身の洋の肩は、丁度私の頭の位置だった。

「しっかりと下さい。酔つたんですか」

確かに私はその頃になつて足が心もとなくなつてゐた〔はだしで歩きたいわねえ〕

私ははだしで歩いた故郷の浜辺を思い出していた。

「おくにはどこですか？」

洋が尋ねた。

「海の見える町」  
車のライトがまばゆく飛び交う町筋に、私は暗い海を飾る漁火を見ていた。

「そして雪が降る」

「僕の町も雪が降る」

「ふわふわした大きなボタン雪が降るわ」

「僕の所は粉雪。ああスキーガしたいな」

私は灰色の空からこぼれ落ちて果てない雪を思つた。ほんとうに雪は、落ちても落ちても、果てもなく降りしきるのだ。飛び交うライトが夜光虫のように光つていた。光りはみんな白いほたん雪になつて私を取り巻いた。

洋が私のアパートに泊りに來ていた、あの一年間は、一体、何だったのだろう。そこにだけ陽があたつて、明るく透明な風景——。そこに自分を置いていたことが、今、私は信じられない。現実の世界とは思えない程、遠くに思われる。もしかして、私は洋の中に「故郷」を見ていたのかも知れない。二度と帰るまいと思いつてた故里。憎みや、つらさがキリキリと胸を刺すのに、悲しき程懐しくたぐり寄せられてしまふあの海の見える町。来る日も来る日も、お客様の髪を美しく結い上げつづける母。ちつとも垢抜けなくて、三年も東京に住んでいなが

ら、昨日田舎から出て来たといった風な、何時も気弱げ

な洋に、するりと私は緊張を脱いだ。日だまりに、のび

のびと身体をのばすように、無心に対していた。それは

捨てようにも、捨てきれない故里をたぐりよせようとした、つかの間の希いだったのではないだろうか。

毎週の週末、洋は私のアパートで過した。簾筒と、鏡

台と、小さな台所しかない私の部屋に、少しづつ世帯道具が揃い、人間の生活の持つ暖かさがひろがりつつあつた。だが、洋との生活の或る瞬間、突然、陽がかけるよ

うに、うすら寒いものが背筋をかけぬけたのは何故だつたのだろう。これは嘘なのだ。これは間違いなのだと、ひんやり冷たい風が、葉陰を通り抜けるように、心を凍らせた。暗い予感が、足もとから霧のように立ちのぼつて來た。いい気になつてはいけない。いい気になつたら落し穴に足を取られる——不意に私はそう思った。

幸福は一人になってはじめて現実に私のものになつた。洋の来ない夜、夜具に横たわり、はじめて確実に私は洋を実感した。洋は確かに私の傍に居た。私は寝返えりを打ち、猫のようにしなやかに洋の身体に自分を添わせる。洋のすべすべした肩に頬を寄せて眠る。

コーヒーを口に運こびながら、私は向かいの席の洋を見

つめる。洋は大きな口をあけてトーストにかぶりつく。

「うまいなあ」

と感に耐えないよう言つた焼きたてのパンを買つために、私は洋の來た朝は、十分も歩いてその焼きたてのパンを売る店まで行つたのだ。それにたっぷりバターを塗り、洋は食事をする。

「ああ、食つた、食つた」

洋はふくれた胃袋を、大仰な身振りで撫でながら立ち上がる。洋の居ない時、私は何時も洋と二人だつた。

ひと夏が過ぎ、それきり、洋は私の前から消えた。

「木島はアルバイトを辞めたんだろうか。君、何か聞いていいない？」

田賀が浮かない顔をして煙草の煙を吐きだしている。

私は黙つて首を振つた。

「この頃の学生は勝手だからね。重い物一つ運べない癖に、少しでも給料のいい楽な所にすぐ變つてしまふ。木島はその点、拾い物だと思ったがなあ」

「辞めるとは言つてないでしよう?」

「夏休みが終つたら又お願ひしますって言つてたんだがねえ。もう学校ははじまっているんだろう」

九月になるとどこの

アパートも様々な催物で賑やかになる。一年

中の書き入れ時をひかえて田賀は焦つていた。

そ知らぬ振りをして私は部屋を出た。窓の外に、ようやく深みを増した青い空がのぞいていた。不安の中でも思ひがあつた。そう思

いながら、私は自分の中に占めている洋の影の広さに愕然とした。洋はもう、しっかりと私の中に住みついていた。もう百年も昔から私の一部であったかのように、洋は私と一つになってしまっていた。それを剝がすことが出来そうになかった。剝がしてしまったら、私自身までゆらゆら、かげろうのように消えてしまうような心もとなさだつた。思いあまつて、私ははじめて彼の下宿に電話をかけた。

「学校じゃないですか」

乾いた声がさも迷惑そろにはね返り、ガチアンと乱暴に切れた。

十月の終りになつて、やつと洋は事務所に来た。彼は私は目もくれず部長の席を行つた。

「卒論で忙しくなります。勝手ですが、アルバイトやめさせて下さい」

「困るよ、君。今になつてそういうこと言われちやかなわんよ。今、一番忙しい時なんだ」

「かわりを探してあります。明日来させます」

洋はしばらくの間部長と話をして、事務所を出た。風を抱えて動いた扉が、バタンと閉まるのを、私は傷みと一緒に見つめた。洋のあとを追つて、部屋を飛びだして行きたいのを、私はかろうじて踏みとどまつた。洋は一度も私を見なかつたと思つた。

胸の中で何かが崩れた。無残に碎けてゆく暗い予感に息をつめたまま、やっぱり来てしまつたと思つた。不思議なことにそれが一番自分にふさわしい、自分の落着き場所にやつと帰り着いたといつた、或る種の安堵が、つらさと重なり合つた。

街路樹が黄ばみ、風は日増しに尖つて来る。空気は何時も乾いていた。どこに居ても風は埃のにおいを持って

いた。もうすぐ、ザクザク光つた霜柱が、生垣の根本を押し上げるだろう。

デパートは競つてブライダル・フェアを練りひろげ、高価な家具の売り込みに大童だ。重厚な家具が、それも

何十万もある家具が、飛ぶように売れた。新婚の華やいだ部屋には、軽やかで、甘い色調の家具が似合うだろうに、古い田舎の家の柱のような、重々しい、民芸調の家具を、何故親は娘に買ひ与えるのだろう。

頼まれた書類を持って田賀をたづねると、思いがけず、洋が居た。洋は石を見るように無表情に私を見た。田賀がそこを離れた時、私は洋に近づいた。

「来て。今夜、待つて」

私は急いでそう囁いた。洋の顔に困惑の色が浮かんだ。彼は目をそらし、顔を横に向けた。何か都合の悪いことを言われた時、彼はあわてて横を見る癖があつた。そんな彼の顔が、たまらない程醜くゆがんで見えた。そんな汚ない表情を見せた洋に私は怯えた。だが私は、するがよう洋に言つていた。

「どうしても来て。今夜、お夕飯の用意して待つてわ。どうしても来て——」

言いながら私は涙ぐんだ。

「人目があるので、こんな所で——」

吐き捨てるように洋は言つた。不愉快そうに顔をゆがめると、そのまま彼は私のそばを離れた。あの時、私はどれ程醜い顔をしていただろう。惨めだった。冷たい目で蔑む男に、すがるように「来て」と哀願した惨めさが、私はいたたまれなかつた。

田賀が近づいた。

「彼、もう帰つたの？」

私はうなづいた。喉が乾ききついていた。

「地方の就職はかなりきびしいらしいよ。彼は長男だから、親は帰えしたいらしい」

「どうするって？ あの人」

私はさりげなく尋ねた。

「両親が議員なんかに頼んでいるらしいよ。地方はそういうことで動くんだけ。適當な所がなかつたら、留年しようかと言つてゐる」

「留年すればよいよ不利になるんじゃないの？」 彼、

故郷に帰る気なかしら?」

「さあ、こちらに居たいのじやないかな。お願ひします  
なんて俺に頼んでいたよ」

その時、私は自分でも意外だった程、落胆した。私は  
洋に遠くに去ってほしかったのだろうか。二度と逢えな  
い遠くに行ってしまった、永久に私の前から消えてほし  
かったのだろうか。私は家具売場を離れた。中年の髪の  
短い女が、ゆっくりと家具の間を縫つて行く。豪華な  
応接セット

に、彼女は

一体、どん

な夢を紡ぐ

のだろう。

音楽が流れ

色彩が渦巻

き、華やか

な熱気が売

場をおおっ

ている。私

は家具売場

を抜け、エ

スカレーター

に向って

歩いて行つ

た。歩くに

つれて、メ

ロディーも

色の輪も、

水がわかれ

るよう左

右に退き、  
私の目の前  
に一本、寒  
い道のがび

のろのろと日が過ぎて行く。過ぎる時間が、我慢出来  
ない程重かった。時折、洋の夢を見た。夢の中の洋は、私の所に来てい  
た頃と変わらない平和な顔をしていた。二人で汽車に乗つ  
て旅に出る夢を、何度も見た。夢で見る汽車は、何時も  
乗り心持が悪く、乗ろうとすると、突然動きだしたり、  
切符がなかつたり、情けない程焦るのが常だのに、洋と  
私は、何時でもごく自然に汽車に乗りこんだ。乗れた  
ことに、私は身体中の力が脱け落ちるほど安心して、  
そばに居る洋に寄り添つた。唇に、洋を感じて目覚める  
こともあつた。目覚めても、まだ残り火のように影を引  
いている夢の余韻は、何時も洋の目に冷たい水を浴びせ  
かけられた。私を見た洋の目。まるで石を見るように私  
を見た洋の目は、どんな想いも吹き消し、どんな希いも  
凍らせた。突然去つた理由を考えあぐむことも私はしな  
かつた。石を見るように私を見た。それだけで充分だつ  
た。どんな言葉よりも如実に、それは彼の心を語つてい  
た。

「殺してやる、洋」  
息のようにつぶやいていたことがあつた。はつきりと  
言葉にはならない思いなのだが、そうとしか言いようの  
ない思いが、何時の間にか育つていた。

「殺してやる、洋」  
ふつと固い均衡が崩れ、柔らかく弛んだ隙間から、こ  
ぼれるように洋への思慕が頭をもたげる。途端に私は冷  
水でも浴びせかけるようにつぶやく。

「あれは殺意だったのだろうか。殺意が、知らぬ間に胸  
へ

の底に芽生えていたのだろうか。だが殺したかったのは洋ではない。私がほんとうに殺したかったのは私自身。

私の中の洋への執着。私はそれが殺したかった。

夕暮れの町はどんより虹色に膨張し、行き交う人の姿が凸レンズにうつしたように、いびつにゆらめく。下北沢の駅に降り立ち、機械のように、汚れた階段をおりながら、ふっと存在感を失ってしまう。何千もの人間の足に踏まれてすり減り、へこんだ階段が、目の先で一段、一段せり上がり、私は自分が空に向かって登っているのか、それとも地の底に向かって果てしもなく降りているのか、わからなくなつて来る。

駅前の商店街は、帰りを急ぐ人々で相変らず賑やかだ。何時も買う魚屋の主人が、貧乏ゆすりのように身体を振りながら、並べた魚に目を配っている。瑞瑞しいえびが並べてある。洋が来る日、私は財布の中味も考えずに買ひこんだのだ。

「えびが新しいよ」

主人は私を見つけて声をかける。首を振り逃げるようには通り過ぎる。買物籠をさげた若い女が、驚いたように目を見開いて私を見上げる。

アパートのそばの桜並木が色づき、燃えるように赤い葉が、風に舞つた。そんな日、突然洋が来た。

部屋の窓に灯りがついているのを見た時、見知らぬ町に立つたような錯覚にとらわれて頭が空っぽになつた。洋が立つていた。私はぶつけるように彼に身を投げた。

だが彼は私を押しのけた。

「忘れ物があった——」

私は尚も彼の胸に自分を押しつけた。

「帰らないで——」

彼の胸が棒のよう冷たかった。

「帰らないで。私を一人にしないで——」

水の底のように凍っていた空気が、ほんのわずか弛んだ。夜があけるのだろうか。物音は相変らず絶えているけれど、ほんの少し聞か動きはじめたのがわかる。何かが目覚め、何かが動きはじめた気配がある。もうすぐ夜があけるのだ。夜があけたらそう思つた時、悪寒のようふるえがかけ上つて来た。寒いのか、つらいのか、鉛

のようなふるえが、吐氣と一緒に、私を押さえつけはじめた。

「逃げたい——」と思う。この部屋を今すぐ滑り出て、外の間に溶けてしまいたい。だが、逃げて、どこに行けばいいのだろう。身を置く場所など、もうどこにもないとわかっているのに、逃げだしたいと思う。今、力一杯握りしめているこの両腕の力を、ほんのわずかでも弛めたら、私はこの部屋をかけてゆくのではないだろうか。おどおどと顎を鳴らしながら、待つしかないと、私は自分に言い聞かせる。何が来るのか、何がおくるのか、まるで見当のつかないこの闇の先にあるものを、吐気にいたぶられながら待つしかないのだ。

私はもう一度、洋を見つめた。洋はもう石になつてしまっていた。闇が少しづつ溶け出し、窓辺のうす青い光りの中で、洋は同じ色の青い石に変つていた。

「何故殺したのですか？」

不意に鋭い声が聞こえた。

「洋が来たから——」

私は深々とした闇に答えた。

「それでは返事にならない。どうして殺したのですか？」

「洋が来たから——」

私は当惑し、急いで言葉を探しながら、のろのろと返事をする。

「お前は彼を待つっていたのでありませんか？」

「待ちました。毎日、毎日、一日中、どんな時も——」

「だのに何故？」

「待つたからです。待たずに居られないからです。どんなにしても待ちつづけるにちがいないからです」

「来てほしかった。何時も来てほしかった。来てほしいと、どんな時も思いつづけるからです」

声は呆れ、やがて闇にのまれる。それを追いかけるよう、私は声を大きくする。

「心がないのに来たからです。心なんかとうに失くしているのに、優しい仕草をしたからです」

突然空気が鋭くふるえ、始発の電車の響きが、私の声を消してしまつた。

(完)

# ★神戸っ子トラベルコーナー

★シンガポール5日間

出発／⑧3月2・5・7・10・13日  
費用／⑧3月14・19・21・9・26日  
費用／⑧3月1・1・8、0・0・0  
⑧の場合￥1,230、0・0・0

大阪發着、市内觀光  
ホテルアボロホテル

★パンコック4日間

費用／￥99、800  
ホテル／ラマタワー・ホテル

★セイシェル10日間

英國航空アフリカ路線就航10周年  
特別企画、インド洋の島

出発日／3月まで週々金曜日

費用／￥349、000

日程／東京→セイシェル（マヘ島  
→大阪着

ホテル／コートラル・ストランド・  
ホテルまたはバーバロン・ビーチ  
ホテル

★別府温泉の旅

出発／3月31日まで毎日

日程／3泊4日（船中2泊）

費用／4日間コース￥1,000  
0・7日間コース￥2,600

シルバーエイジの旅、温泉、ゲ  
トボーム、演劇ショー、針灸治療

★春休み長崎・鹿児島クルーズ

日程／3月25日（金）～28日（月）  
費用／￥3,900より

スケジュール／神戸15・00発→26

陳徳さんのこと、モロゾフさん  
のこと、県庁のこと、すばらしい  
インタビューと思いました。  
これからもこのような企画をど  
んどんお使いします。

★皆様よいお年をお迎えになった  
こととお慶び申し上げます。我々  
のインド滞在も2年目を迎えます

ここぞアラカルトに落ちていて生活を  
始めてみると、離れた日本が逆に  
近くなったりするので妙です。元

旦にパナラシ在の日本人仲間と早

朝ガングジス河に舟を出し、初日を

お正月などしていつ分より  
お正月気分を出していますが、も

やに煙るガングジスの白い彼岸に大

き初日が上り、同じ刻此岸の

ガート（沐浴場）では沐浴する人  
マントを唱える人、黒い骨ばっ

たお尻をこちらに向けてしゃが  
みで朝のおつとめであるサンコを

でした。

「船が動くということは景色が動  
いているわけでしょう」美しい

ビジョンと人生観を感じました。

## talk and talk



<神戸っ子愛読者サロン>



湖畔の寺院

韓国民族舞踊。セマウル村見学  
★コートダンジユールからルネッ  
サンスへのロマン

日程／3月30日～4月9日

費用／￥4,730、000

訪問都市マセルイユ・カンヌ・ニ  
ース・ミラノ・コモ

★マリナ足摺・宇和海の旅

ナイト3月11～24日

出発／3月4、18、26、4月1日

費用／￥2,900より

日程／東神戸23・30分発→船中泊  
↓足摺岬→鹿島→宇和島市内泊→  
松山市内→奥道後（夕食入浴）→  
松山→船中泊→神戸中央突堤6・

10分着

出発／3月19、23、26、31日、4月  
3日、16、27日、5月5日

費用／￥1,270、000

★韓國の古都慶州・扶余5日間

マニラでラグビーの試合を

マニラに行って英国人のラグビ  
ー同好会と試合を。15名以上の1  
チームでお申込み下さい。

出発／3月中旬

日程／4泊5日（試合2回、観光、  
ホテル、全食、ガイド付）

費用／約15万円

お問合せはトップナット電242

126955

★陽春の南九州日南海岸と桜島

出発日／3月25日（2泊3日）

募集人員／80名（最低人員40名）

費用／おとな￥5,500

お問合せは三ノ宮駅行センター

電078（221）0190

★上手下手はともかく、26年間も  
変わっていないであろう人の宮み

の光景が繰り広げられ、これは劇  
的ナレーション

念慈樹、古都自由散策、東大門市

場見学、コリア、ハウスの夕食と

すぐれています。私は観客であった

結果でした。我々は観客であった

ことから、通行人役のハボ演技者であつ  
たか？

ハイドにて／ヒロシ＆ヒサヨ

思います。JAZZ・落語・映画  
という三題をもらって、何かひと  
つの漸くならないか、各地で息づ  
く語らいの中で掌にせられたたら  
快いと思います。前述の三題の漸  
く興味のある方、おたよりお待ち  
しております。

寒さの折り、お体にお気を  
つけて、これからも素晴らしい雑誌  
をお創り下さい。

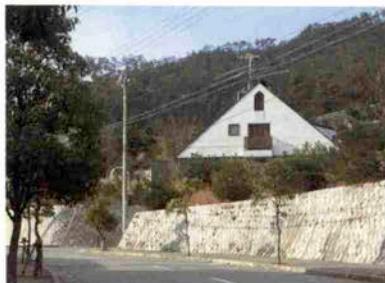
★先月、横浜に遊びに行ったとこ  
ろ、神戸の雰囲気によく似ている  
のどちらと驚きました。港、元  
町、中華街など同じ景色や同じ地  
名、こういうのは姉妹都市に対する  
感情で、双子都市と呼びたいですね。  
誰か他にも似た街があつたら教え  
て下さい。





快適な住まいへのインフォメーションNo9

私たちは、二世帯住宅の真の住みよさとは、心温かさへの配慮から生まれると考えています。親子は、スープがさめない程度離れて住むのが理想とか。現に、互いのプライバシーの尊重を第一にほどよい交流を図ることが、二世帯住宅のパターンになっています。確かに、ひとつ屋根の下に、好みや生活のリズムが違う二世帯が暮らすことで生ずる摩擦を防ぐことは大切。しかし、生活の知恵や文化の伝承、子供の情緒やしつけ、家族のふれあいといった面における長所も見直したいものです。生活ゾーンを分離し、合理的に機能的に目がいきかちな二世帯住宅の方向にあって、私たちは、親子同居の短所を補うこと以上に、長所を育む心温かな設計に力を注ぐべきだと考えています。それが、高齢化社会、長男長女時代を迎える、これからの中世帯住宅のあり方なのではないでしょうか。快適さを支える部分にこそ注目していただきたい——ダイヤシステムハウジングは自信をもって住まいをお届けしています。



ダイヤ システム ハウ징 神戸

神戸市中央区磯辺通4丁目2-20(神戸ビル401) ☎ (078) 232-3281  
夙川モデルハウス／西宮市橋ノ池町(夙川住宅公園内) ☎ (0798) 72-4041  
千里モデルハウス／千里万博公園(千里住宅公園内) ☎ (06) 877-2718

本社／ダイヤ システム ハウ징株式会社  
尼崎市昭和南通3-11(第2松本ビル) ☎ (06) 413-2551㈹

快適な住まいへのインフォメーションをテーマに、12回シリーズで展開。私たちの住まい創りの理念をご理解いただきたいと存じます。

# 二世帯住宅。 スープの温かさより、 暮らしの温かさを。



# —個性あふれるあなたの暮らしを応援します—



Do It Yourself コーナー



園芸コーナー



釣具・カー用品コーナー

ブリコでは、お客様の“わが家のあれこれ”について、アドバイザーが、わかりやすくご相談に応じます。いつでもご遠慮なくお申しつけください。

◆日曜大工コーナー

金物、接着剤、ペンキ、水道部品等

◆家庭用品コーナー

台所、押入整理棚、バストイレ用品等

◆カー用品コーナー

バッテリー、オイル、カーステレオ等

◆釣り具コーナー

仕掛け、クーラー、ウエア等

◆園芸コーナー

花、鉢もの、肥料、ペット用品等

◆エクステリアコーナー

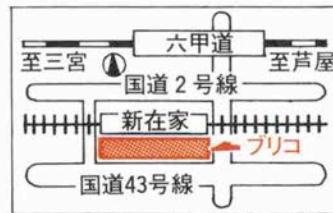
物置、フェンス、門扉、テラス等



ホームセンター

ブリコ  
**Brico**

阪神新在家駅南 午前10時～午後7時  
078(851)4391 第3水曜日定休



60台収容の無料大駐車場完備

# 神戸のうまいもんとドリンク

## ★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭  
中央区旗塚通7-1 ☎ 231-6300  
トアロード店 ☎ 391-2538  
兵庫駅前店 ☎ 575-5306  
住吉店 ☎ 453-3737

北海道郷土料理 蝦夷  
中央区中山手通1-4-13 東門筋東門会館ビル1階  
☎ 331-7770

和食くれなーい  
三宮生田新道浜側中央K.C.Bビル2F ☎ 331-0494

料亭布引大しま  
中央区熊内町4-8-19 ☎ 221-1945

たこ焼たちばな  
三宮センター街(旧柳筋) ☎ 331-0572

民芸御食事処 燃焼ステーキ五  
元町3丁目山側 ☎ 391-3156

本格派日本料理 割烹吉本  
中央区中山手通2-3-20(生田警察署西口前)  
☎ 331-5817・392-2020

山菜料理 六  
国鉄三宮駅山側 ☎ 231-0406

欧風焼鳥トロリードリ  
中央区下山手通2-12-21生田シアルビル  
☎ 391-3028

そだちうどん はぶ木曾  
フランワード市役所前KEビルBF ☎ 231-1295

鮓花銀  
中央区二宮町3-10-16 ☎ 222-2323

どじょう吾  
中央区元町通2-7-20 ☎ 321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂  
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

割烹銀  
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

串かつおか  
中央区北長狭通1-7-13 メインスターB1F ☎ 331-0686

やき鳥南蛮亭  
北野板店  
中央区山本通1-7-21 ☎ 221-5931

甘党とばさら茶屋  
阪急三宮西口山側レインボーブラザ1F ☎ 321-6363

★各国料理  
レストラン 鹿皮くあらかわ  
中央区中山手通2-15-8 ☎ 221-8547・231-3315

ステーキハウス グリル青山  
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎ 391-4858

スカンジナビア料理  
世界の民族食の店  
中央区山本通3-1-2 教育院前 ☎ 242-0131

佛蘭西料理 KARIN  
神戸プラザホテル2F(元町駅南) ☎ 331-4558

メキシコ小料理亭 テイフアナ  
中央区中山手通1-21-13 パールコーポラスビル1F  
☎ 242-0043

ピザ・パブピザ・パテオ  
中央区元町通1-10-4(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ピストロドウリヨン  
中央区山本通2-13-6 ☎ 221-2727

レストラン 麻布キャンティ  
中央区北野町4-1-12 異人館俱楽部 ☎ 222-5380

maison de la mode 花屋敷  
三宮フワーロード市役所前 ☎ 251-2109

ボリネシア料理 海賊焼  
海港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店  
中央区栄町通1-2-14 ☎ 321-3207

SELF-SERVICE CAFETERIA Beer House  
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼  
三宮・生田新道 ☎ 331-2509

喫茶・レストラン カフェパウリスタ  
三宮・トアロード(パウリスタビルB1) ☎ 391-0061

ステーキハウス れんが亭  
中央区下山手通2-5-5 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段  
中央区元町通3-8-4 ☎ 331-2108

レストラン フック神戸店  
中央区栄町通2-9-11 ☎ 321-3453

ステーキ&神戸館  
中央区下山手通2-2-9 アマツビル1F ☎ 321-2955

サンバとブラジル料理 コパカバーナ  
中央区山手通2-1-13 ☎ 332-6694・6697

ドッグレストラン ハイデルベルク  
中央区山本通2-8-15 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

シルクロード料理 ぶはら  
スパイスクitchen  
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎ 331-1734

The grill BOB(ボブ) トアロード西山側  
中央区北長狭通3-1-2 ファーストアブ2F ☎ 392-2500

あより肉工房 和  
世界の民族食の店  
中央区中山手通1-24-1 ヒルサイドテラス1F ☎ 222-0678

炭やきステーキ 凱旋門  
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F ☎ 392-3655

スコッチ&ガスライト  
ローストビーフ

神戸ワシントンホテル9F ☎ 331-6111

フラン西料理 エル・ヴィノ  
中央区北野町3-2-4 アニルド・マンション1F ☎ 241-1344

中国料理 萬壽殿  
中央区中山手2-20-4 ☎ 231-4531

フランス料理 ルー・サロメ  
中央区中山手通2-3-7 第2穴門ビル1F ☎ 392-1251

北イタリア料理 ベルゲン  
中央区山本通2-3-2 ☎ 241-6952

炭焼ステーキ 水野  
中山手通1-32-5ベンシルビル1F ☎ 241-7500

★喫茶 City of City  
コーヒーラウンジ

中央区三宮町3-9-1 ☎ 331-1117

ティー&スナック イホツク  
中央区元町通3-8-8(浜側) ☎ 331-3694

喫茶ガーデニア  
中央区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

喫茶カフェ・ド・ガーデニア  
中央区三宮町3-8 大和ビル ☎ 392-4004

LE CAFE ガレ  
中央区山本通2-3-14 ☎ 242-7144

宮水のコーヒー にしむら珈琲店  
中山手店・中央区中山手通1-26-3

三宮・トアロード(パウリスタビルB1) ☎ 391-0061

中山手店・中央区中山手通1-26-3  
☎ 221-1872・231-9524

セントーアート・センターホテル  
中山手店・中央区三宮町10-27 ☎ 391-0669

北野店・山本通2-1-20 ☎ 242-2467  
(会員制) 3F 事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール バックステージ  
中央区三宮町1 サンプラザ10F サンロイヤル ☎ 332-0230

珈琲モーツアルト  
中央区山本通2-6-11 グランドマンション1F ☎ 241-3961

サンドイッチハウス ココアココ  
中央区加納町4-7-11 ☎ 392-4031

珈琲肆  
中央区三宮町2-9-6(トアロード) ☎ 391-1589

喫茶専門チェーン 株式会社ミカド  
神戸国際会館浜側 ☎ 251-4562

喫茶館英  
中央区三宮町3-11-1 ☎ 391-9006

喫茶館葡  
三宮センター街3丁目 ☎ 391-9006

喫茶館仏蘭西  
三宮・フワーロード(神戸市役所前) ☎ 232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木  
三宮・フワーロード(神戸市役所前) ☎ 251-3231

喫茶館デューク・ウエーリントン  
中央区北長狭通2-6-6(トアロード) ☎ 332-1125

ウイーン菓子 モーツアルト神戸  
中央区布引町2 メゾンロージュ1F ☎ 242-3001

姉妹店・モーツアルト三宮 神戸国際会館浜側 ☎ 251-3616

茶房ナイル  
中央区下山手通6丁目2-7 ☎ 341-7376

★CLUB 飛鳥  
中央区中山手通1-24-10 ☎ 241-5470

★CLUB 鳥飛  
中央区中山手通1-2-6 ☎ 331-7627

club 小万  
中央区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0538・4386

Member's Lounge 異人坂  
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎ 222-2001

club さち  
中央区下山手通2-17-13 ☎ 331-7120

クラブ 千  
中央区下山手通2-12-6 ☎ 391-1077

club なぎさ  
中央区北長狭通2-11-2 ☎ 331-8626

クラブ ふらん  
中央区中山手通1-3-1 ☎ 331-2854

club Moon Light  
Club ☎ 331-0157 BAR ☎ 331-0886・391-2696

club コトブキ  
中央区三宮本通り ☎ 331-1875

★STAND&SNACK 薔薇屋  
レストランBAR 薔薇屋  
中央区北長狭通5-5-22 ☎ 351-4311

サロンアルバトロス  
中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

ブチシャンソン  
音楽の家  
ETエトワト  
中央区三宮町3-8-12 スカイアーバル3F  
神戸アロード三宮センター街西入口 ☎ 332-1755

Theater pub トム・キャンティ  
中央区下山手通2-8-2 神戸ワシントンホテル1F  
☎ 331-2122

サウンドインキヤンティー  
中央区北長狭通1-21-15 ニューアンカビル3F  
☎ 392-3606

スタンドグラムール  
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

サロング神戸時代  
中央区中山手通1-23-10  
モンシャトウコトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ  
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

LOUNGE コリナドロ  
中央区中山手通1-22-13  
ヒルサイドトラス1F ☎ 222-5470

ミュージック・ラウンジ サントノーレ  
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎ 391-3822

北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F  
☎ 221-3886

スタンド千里  
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル1F  
☎ 331-4730

舌潤でつさん  
中央区北長狭通1-5-12 ☎ 331-6778

STAND マシユケナダ  
中央区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F  
☎ 331-5587

メンバーズモントカルロ  
中央区中山手通1-7-6 ニュー友藤ビル1F  
☎ 391-0081

シャングリラ 中山手通1マリンビル1F  
☎ 391-8941

グランプリ 中山手通1ニュー友藤ビル1F  
☎ 391-4406

WINE & RESTAURANT 酒夢猫  
中央区中山手通1-13-14 神戸酒販ビル2F  
☎ 332-3308

末広光夫のティファニー  
末広光夫のミュージックサロン  
中央区中山手通1-21-13 ☎ 241-1771

珍地理屋  
中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ1F  
☎ 242-0288

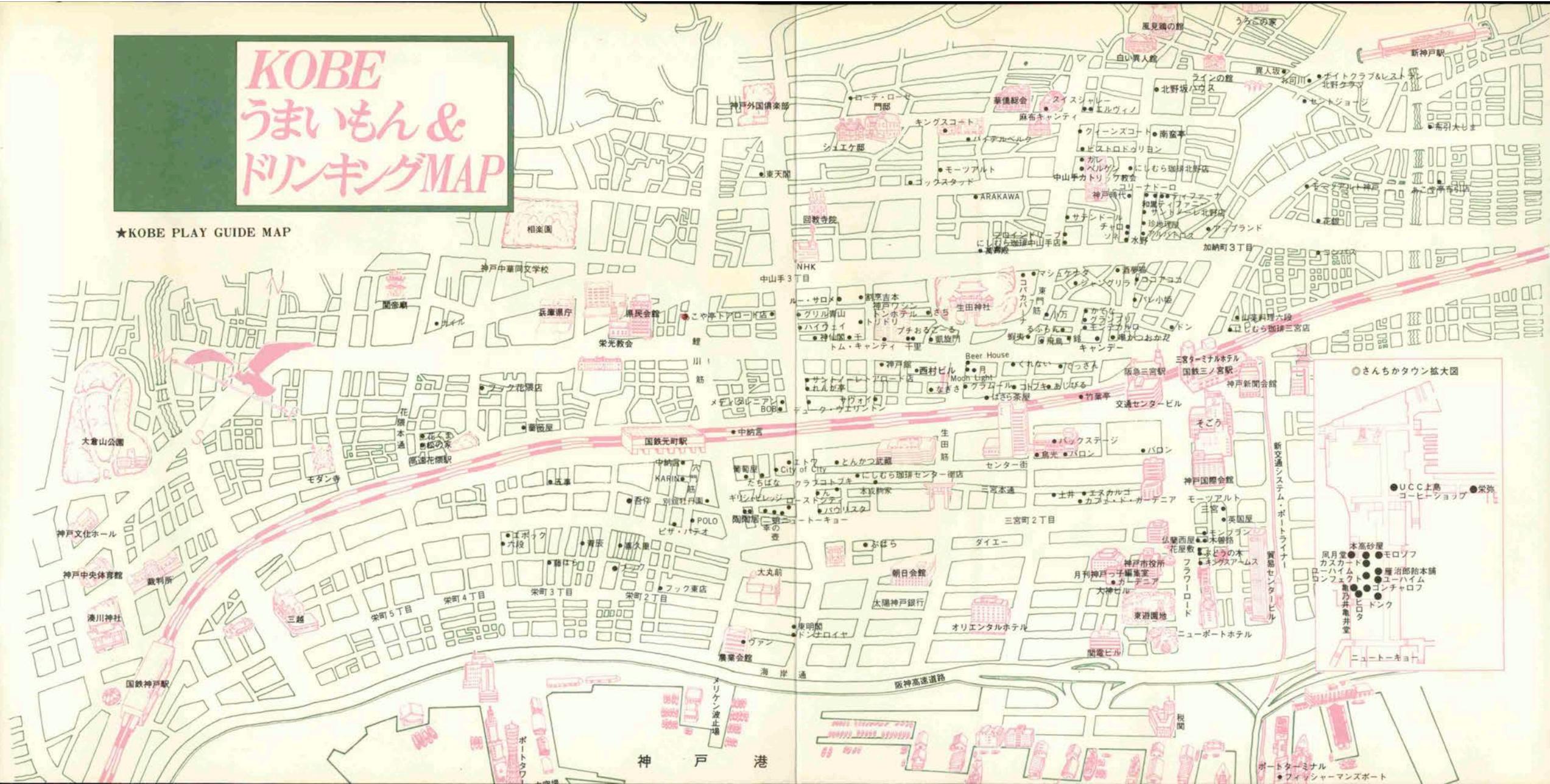
S N A C K プチおるごーる  
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル2F  
☎ 332-2680

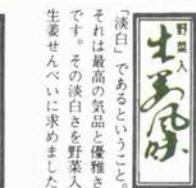
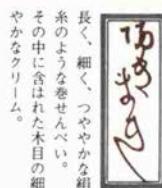
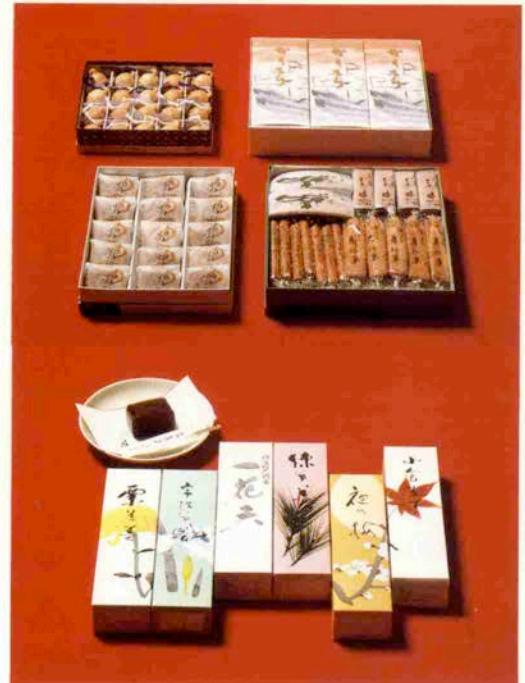
レジャービル 西村ビル  
中央区北長狭通2-12-10(生田筋)  
ランダムハウス45rpm 虎連坊 楽珍 エスカイクラブ

スタンドかてな  
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F  
☎ 331-1316

# KOBE うまいもん& ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP





かさかさと散り落ちる落葉  
の風情をそのままに、一葉  
一葉拾い集めるように、手  
焼きした吹き寄せ。

長く、細く、つやかな絹  
糸のような巻せんべい。  
その中に含はれた木目の細  
やかなクリーム。

「淡白」であるということ。  
それは最高の気品と優雅さ  
です。その淡白さを野菜入  
生せんべいに求めました。

### ●昔も今も手づくりの京菓子



本菓は代々に營れ尊き忠  
孝の臣大楠公小楠公を世  
に偲びてその菊水の菊花  
を形どひたる意匠にして  
茲に菊製と命名せるなり  
多年に亘り苦心研究を重  
ね他菓には見られざる獨  
特の製法により柚の香を  
加えたる滋養豊富且つ衛  
生的にして自然味豊かな  
名菓。

弊店の最も自慢のものに  
して特に茶華道人より絶  
大なる御高評を賜る名菓  
四方に名をひろげ  
尊し菊薫る

萬葉の昔より語られし老松  
の常盤木のよすがを偲んで  
柚、しょうが、味噌、布引  
淹に落ちる清水の清楚な流  
れを汲んで世俗を離れた渓  
谷の趣きを表わしています。

舌にかるる溶けこむ風格。

六甲山にちなんだ献上菓、  
味噌の風味かな香りと峰  
に散る白雪を表す砂糖菓の  
佗しげな情趣。

六甲山

菊製

# 二つ庵

〒650 神戸市中央区元町通1丁目8番4号 TEL (078) 331-0755(代)



★パンの歴史をつたえる

## 力スカード

パティセリ店／さんプラザB1F(332)2347

1月28日に改装オープン。一層シン

ブルにレイアウトされたオーブンで、上質の

素材で作られたケーキが並んでいます。



★建具・金物・家具・金物・装飾金物・家庭金物

## 力ギヤ金物店

トアロード(332)2325

あなたの家のドアの取っ手をイタリ  
アやフランスから仕入れた洒落たもの  
に変えませんか？

鏡前・シャッターの取付・修理を承ります。

★オーダーメイド・紳士服

## アダムG 岡田巖

神戸国際会館3F(331)3575

大人の男に愛されるランバンの生地、  
イタリアの新星エンリコ・ココヴィエリ  
のネクタイ。春物が続々入荷中です。



★画廊

## ギヤラリーあじさい

さんプラザ3F(331)1067

7年目にはいづたギヤラリーあじさい  
たい、1月に移転しました。より充実し  
た企画画廊をめざします。



shopping

# Spring Town, Kobe

春一番のショッピングプロムナード

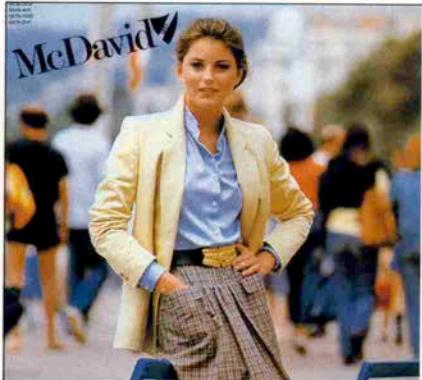


★べつ甲  
太田べつ甲店

元町一番街山側  
331-6195  
べにはぜひや  
甲のひ欲し  
アクセサリ  
ーなる何  
でも。春先



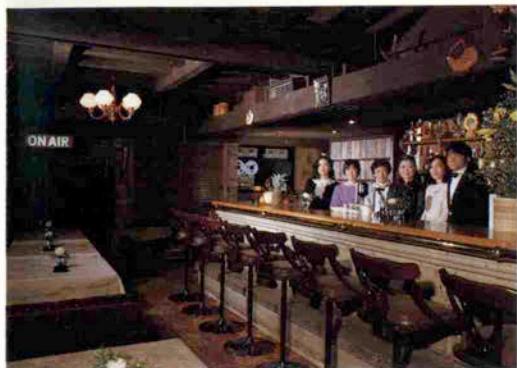
★画材・額縁  
トアロード大丸前(331)-1309  
絵のある空間をあなたの家のどこか  
に作めてみませんか?何か一つでも  
決めて。末積製額がお手伝いしま  
す



★ブティック  
サンジエル  
セントラル街2丁目  
331-4358  
タウンでひとときわ  
なたに贈ります。  
大切なマーチティースーツ。



★デザートアイランド  
セントラル街スタイルビルB1  
アメリカンスタイルのボリュームたつ  
ふりのパイやケーキなど、出来たての  
トザートをお好みにあわせてクリエイ  
できるチョイススタイルのお店です。



黄昏が似合うパブレストラン「ロペ」は、貴方の気軽なパーティハウス。今宵も心弾む音楽と料理で“素敵な夜”を演出します。



pub-restaurant  
sound-house  
**ロペ**

中央区下山手通3丁目8-9(旧キャンティ北店の場所)  
年中無休 PM5:00~ON AIR ☎391-3060



北野のシャレた雰囲気のなかで、スイスの家庭料理はいかがですか。スイスワインも、すべてそろっています。



**SWISS CHALET**

スイスシャレー

北野・異人館通り(アニルドマンション1F)  
☎221-4343 正午~10PM 月曜休



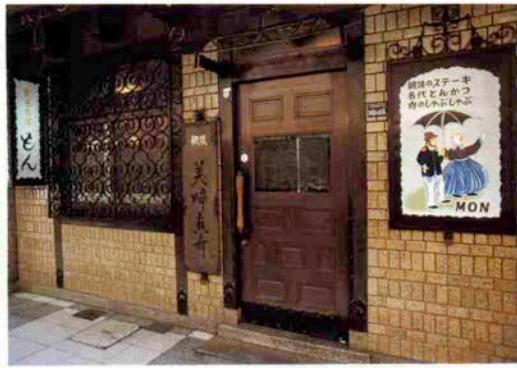
「花とあかりのニューライフ」で好評を博したアートフラワーの長浜律子先生と次女の久美子様、長田社長と浜出チーフを囲んでのグレルミ談義。ボリネシア料理が花を添えます。今夜のメニューはザザエのブルゴーニュ風 ロミロミサーモン 伊勢エビのパワフルスティック エビのキウイソース サフランライスに伊勢エビのアメリカンソース煮

ロマンチックな港のレストラン



**Fizz Shamans' Port**

ポートライナー・ポートターミナル駅ビル内  
☎331-0301~2 月曜日定休



文明開化の版画や硝子絵などの美術品に囲まれ、落ちつける店内。とんかつ、網焼ステーキ文句なしの“通”的味。

とんかつ・網焼ステーキ

**モ**ン

中央区北長狭通2-12-13 生田筋 ☎331-0372

11AM~9:30PM

姉妹店 ステーキ いかりや ☎331-4161 PM3:00~PM11:00

I saw the harbor lights. The only told me we were parting  
The same old harbor lights. That once brought you to me

**HARBOUR LIGHTS**

# NIGHT INN KOBE

I watched the harbor lights. How could I help if tears were starting.  
Goodbye to tender nights. Beside the silvery sea.



Always Keep Drinking Spirits in Our Life./  
Yes. The Drinking is My Way of Life-NOW.



中央区三宮町1 さんプラザ10F サンロイヤル

☎ 332-0230 第1,3月曜休

Coffee Time 11:00-6:00 Whisky Time 6:00-12:00



新しい生命の萌える季節。素晴らしい春の宵にカンパイ!



中央区北長狭通1-21-15 生田新道レンガ筋角  
ニューアンカービル3F ☎ 392-3606



甲南大学の4人。今夜は20歳のBirthday Partyとテストの終った打ち上げ。「今度は彼と来たいな」と全員一致。

JAZZ & WHISKY HOUSE  
**SATIN DOLL.**

中央区中山手通1 富士産業ビル1F  
☎ 242-0100 無休



「6月の花嫁」になるお姉さんの小さな祝賀会。姉妹4人がそろって、食事を楽しむのは初めてのことだそうです。

芸術広場——新しい文化との出会いと楽しみながら美術を!

「マート'81協会」選抜展 期間3月4日~31日

**COLORIA COPACABANA**

コロニア コパカバーナ

中央区中山手通2 ニューサンコービル(赤い風車のあるビル)2F

☎ 392-2435

須磨の磯の香と味を贈る…



左は道本定子フロント部長

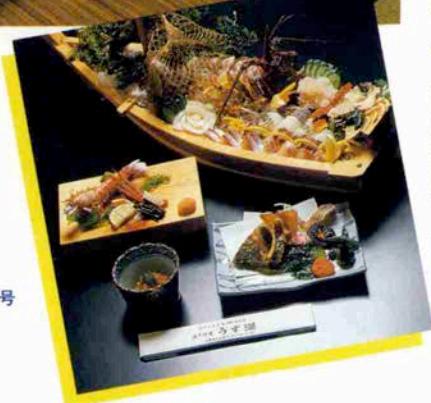
### 活魚料理

神戸市漁業協同組合直営

# うず潮

〒654 神戸市須磨区須磨浦通1丁目1番10号

☎ 078(731)4622



## 早春の海の幸を堪能

足立巻一（詩人）

わたしは魚が大好物である。それも活け魚が好きだ。それは母の影響であります。母は瀬戸内海の小さな島で生まれ育ち、そのせいか、魚には大変おいしかった。決して活きの悪い魚は食わせなかつた。おかげでわたしの舌も魚には相当肥えているとうねばれています。早春某日のだけに吟味されている。それに、窓から見える須磨の海の潮光る眺めも大きい。わたしは須磨区若木町に住んでいます。そこで、ここに案内することにした。宿泊の設備もあるから。

# 春の集いに：



●三月のお客さまは株ワールド企画担当の方々。左より堺井さん、野田さん、中川さん、米田さん。

- お手軽な日本料理で春の季節感をお楽しみください。
- 阪急三宮駅山側という交通至便の場所にありますので、会合などにも便利にご利用いただけます。

四季の味いろいろ



神戸・阪急三宮駅西口北側レインボープラザビル2F  
TEL (078) 321-6363



- お刺しみ膳 月…5,000円 雪…4,000円 花…3,000円
- 天ぷら膳 月…5,000円 雪…4,000円 花…3,000円

# A HAPPY WEDDING



◆子どもは、男女2、3人ぐらい

山本 敏・朱美さん夫妻

〔昭和58年1月29日挙式〕

（アリゾナ州）ノジニアリノグ勳勳爵（ノジニアリノグ）神戸市北区在住

有野台団地の中の同じ号棟に住む二人。東京と姫路出身の二人が知りあつたのは、まるで偶然の出来事。「一美さんは『いいともお帰りなさい』といつて、彼の御飯を作つてあげたい」と、夢のある家庭づくりをめざしてハネムーンは南の国沖縄へと旅立つていきました。

統合結婚式場  
**平安閣**

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15  
阪神／尼崎市昭和通5丁目182



サンゴアイチ(078)351-3390



阪神 06-413-3303(代)

"通"がすすめるやき鳥の本格派。味のバラエティを

お楽しみください。

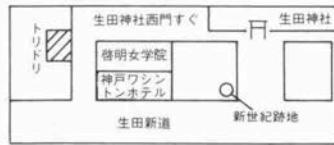


• NHK 神戸放送局にお勤めの青木さん(左)と菊地さん



"通"の方のための本格的なトリドリコースA (12品) …2,200円・焼き鳥はちょっと苦手という方のためのトリドリコースB (12品) …2,200円

YAKITORI  
やき鳥 炭焼  
**TORIDORO**  
(トリドリ)



神戸市中央区下山手通2-12-21 生田ソシアルビル ☎391-3028  
5:00PM-11:00PM 日曜休(祝日営業)



<p>手づくりのシフォンケーキと サンドイッチ ファミリア <b>北野坂ハウス</b> 中央区北野町2(北野坂) ☎222-3535 11AM~6PM 月曜休</p> <p>舶来民芸品・アンティーク <b>神戸コレクション</b> 北野通店 ☎222-2468 10AM~5PM 異人館通店 ☎222-3600 10AM~8PM</p>	<p>COFFEE &amp; SOUVENIR <b>うろこの家</b> 中央区北野町2丁目 ☎242-6530</p> <p>•KITANO• <b>NEW SPOT MARCH</b></p>	<p>フランス料理 <b>北野クラブ</b> 中央区北野町1丁目5-7 ☎222-5123 11AM~2:30PM (ランチ/ワインズランチは3PMまで) 5PM~10:30PM(ディナー)</p> <p>神戸割烹 <b>お可川</b> 中央区北野町1丁目5-10 ☎222-3511 11AM~9PM</p>
<p>手づくりの店 <b>がれりあ馬亞乃</b> 中央区北野町4丁目9-6 伊藤マンション21号 ☎242-5005 11AM~7PM 水曜休</p> <p>花と植木 <b>草楽園</b> 中央区山本通3丁目バス停前 ☎221-1585 9:30AM~7PM</p>		<p>英國風レストラン <b>St. George Japan</b> 中央区北野町1丁目2-17 ☎242-1234 11AM~4PM(ランチタイム) 5PM~11PM(会員制)</p> <p>真珠・宝石・アクセサリー専門店 <b>サロン・ド・パール北野</b> (栄光宝飾) 中央区北野町4丁目8-3 ☎222-1406</p>
<p>スカンディナビア料理と 世界の民族音楽の店 <b>ゴツクスタッフ</b> 中央区山本通 回教寺院前 ☎242-0131 5PM~1AM 水曜定休</p>	<p>•北野のクレープ・ド・パリ 昨年のクリスマスイブにオーブンした屋台のクレープ屋さん。松元忠浩さん左がフランスで見てきたイメージで作られたお店です。まわりはいつも子供たちで一杯。中山手カトリック教会の前です。</p>	<p>スパニッシュレストラン <b>エルヴィノ</b> 中央区北野町3丁目 アニルドマンション1F ☎241-1344 東門店 / ☎332-6636 水曜休</p>
<p>フランス料理 <b>ビストロドゥリヨン</b> 中央区山本通2丁目13-6 ☎221-2727 正午~10PM 月曜休</p>	<p>美容室 <b>ブルーあきら</b> 中央区北野町3丁目 ☎221-9080 9AM~6PM 月・第3火休</p>	<p>異人館のユーハイム <b>ラインの館</b> 中央区北野町2丁目10-24 ☎222-6266 10AM~6PM 第3木曜定休</p>
<p>メンバーズラウンジ <b>異人坂</b> 中央区北野町2丁目9-22 ☎222-2001 11AM~5PM(ティータイム) 5:30PM~12PM(メンバーズタイム)</p>	<p>ギャラリー・ティールーム <b>神戸時代</b> 中央区中山手通1丁目23-10 モンシャトウコトブキビル ☎242-3567 11AM~5PM(ティータイム) 土曜休 6PM~12PM(ドリンクタイム) 日祝休</p>	<p>フランス料理 <b>ジャン・ムーラン</b> 中央区北野町3丁目1-1 ☎242-4188 11:30AM~2PM 5PM~10PM 水曜休</p>

# 坂のある町・散歩道 KITANO



★にしむら珈琲店

中山手通り